

平成22年6月25日

貧酸素水塊速報 (2010年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター

千葉県農林水産技術会議

【協力】 神奈川県水産技術センター
千葉県環境研究センター
第三管区海上保安本部
国立環境研究所

内湾底びき網研究会連合会
東京都環境局
千葉灯標モニタリングポスト

(今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成22年6月22日観測結果

一週間ほど吹き続く南西風の影響を受けたため、貧酸素水塊は内湾中央から南部にかけての神奈川県寄りに分布していました(図1)。今後引き続き南寄りの風が吹き続けると、貧酸素水塊の中心が中ノ瀬付近まで達する可能性があります。同海域での操業にはしばらく注意が必要です。また、貧酸素水塊の規模は、引き続き例年より高めで推移しています(図3)。

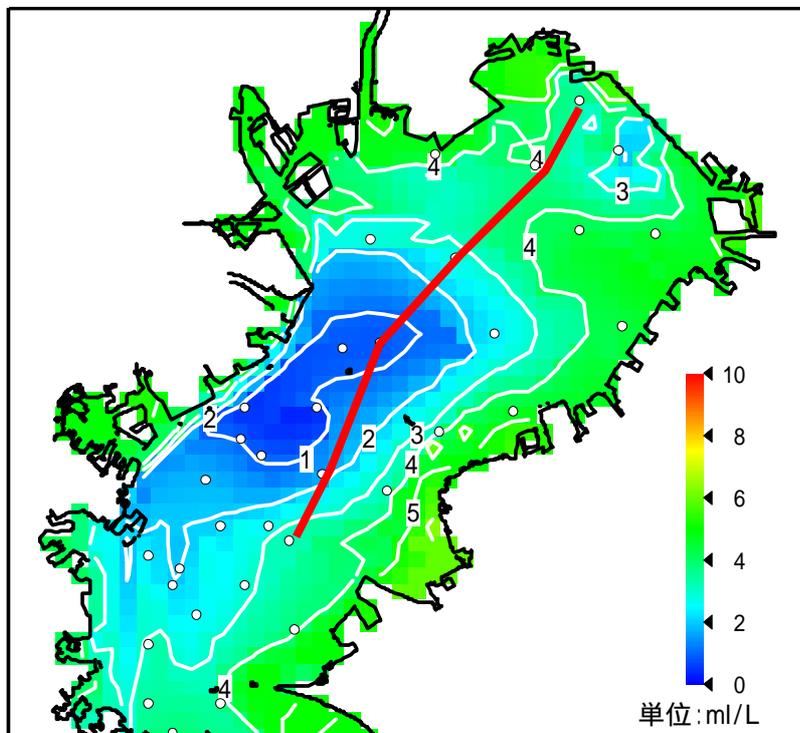


図1 底層の溶存酸素量の分布 (赤線は縦断ライン)

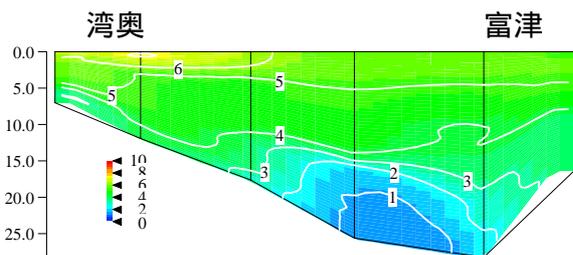


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

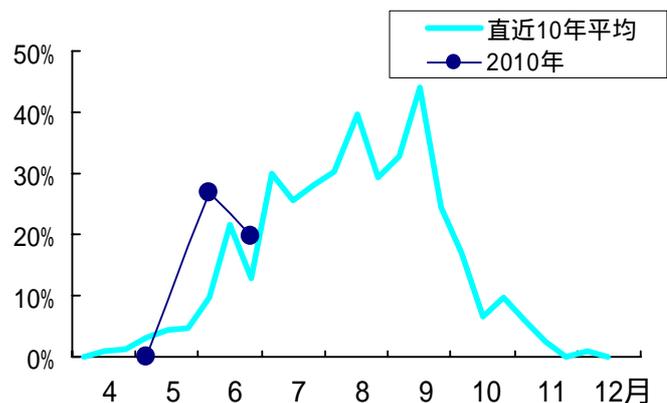


図3 貧酸素水塊の規模
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)